

平成30年度

佐賀県波戸岬少年自然の家

管理運営業務報告書

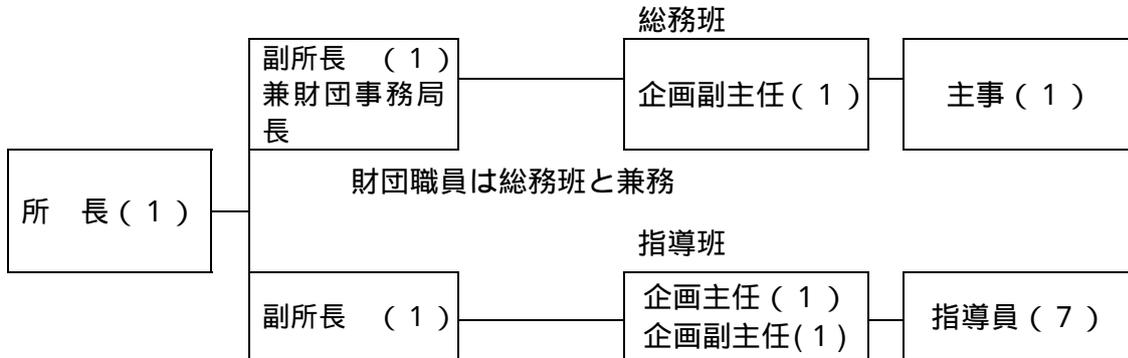
公益財団法人佐賀県教育文化振興財団

第1 趣旨

この報告書は、佐賀県波戸岬少年自然の家の管理運営に関する協定書第22条第1項第1号に定める「管理運營業務の実施状況」について記載しているものである。

第2 管理運営体制

1 組織・人員配置



2 職員の指導育成・研修体制

外部研修等の実施状況

	期 日	研 修 名	会 場	参加人数
1	5 . 1 5 ~ 1 6	九州地区青少年教育施設協議会職員研修	長崎市	4人
2	6 . 1 6 ~ 1 7	全国労働安全週間説明会	唐津市文化体育館	1人
3	6 . 1 6 ~ 1 7 1 1 . 2 3 ~ 2 5	グループづくりに役立つプログラム研修	国立諫早 青少年自然の家	1人
4	9 . 1 8 ~ 2 0 3 . 7 ~ 1 2	小型船舶免許取得講習会	唐津市、福岡市	2人
5	1 0 . 3 ~ 2 . 2 8 ~	NEALインストラクター講習（演習）	国立諫早 青少年自然の家	2人
6	1 0 . 1 1 ~ 1 2	クレーン講習	佐賀市	1人
7	1 0 . 2 0 ~	NEALインストラクター講習（演習）	国立諫早 青少年自然の家	1人
8	1 1 . 1 6	労働委員会特別研修会	佐賀県庁	1人
9	1 1 . 2 3 ~ 2 5	NEALリーダー講習（演習）	国立諫早 青少年自然の家	1人
10	1 2 . 3 ~ 7	NEALコーディネーター講習（概論）	国立室戸岬少年 自然の家	1人
11	1 2 . 8 ~	NEALコーディネーター講習（演習）	国立夜須 青少年自然の家	1人
12	1 2 . 2 0	農薬の適正使用に関する説明会	アバンセ	1人
13	1 2 . 2 1	スチューデントサポート研修	佐賀市	1人
14	1 . 1 3 ~	NEALインストラクター講習（演習）	国立夜須 青少年自然の家	1人
15	2 . 3	野外教育安全フォーラム	玄海青年の家	1人
16	3 . 2 7	健康増進法に関する説明会	伊万里市	1人

内部研修、救命講習、消防訓練等の実施状況

	月 日	研 修 内 容	講師等	参加者
1	4 . 2	職員研修：危機管理など各種マニュアル	自 主	14人：職員
2	4 . 5	カッター活動会議・指導方針協議	自 主	28人：職員 カッター指導員
3	5 . 7	職員研修：電話の対応等	自 主	14人：職員
4	6 . 6	職員研修：利用者への対応等	自 主	10人：指導班
5	7 . 4	職員研修：シュノーケリング実技	自 主	10人：指導員
6	8 . 8	職員研修：新任職員クラフト研修	自 主	6人：指導員
7	9 . 7	職員研修：利用者への対応等	自 主	10人：指導班
8	10 . 3	職員研修：利用者への対応、波戸の森整備	自 主	9人：指導班
9	10 . 17	職員研修：消防訓練（通報・初期消火・誘導）	メンテ職員	21人：職員 メンテ職員
10	10 . 25	職員研修：普通救命講習	自 主	2人：指導班
11	11 . 5	職員研修：カッター活動意見交換会（反省）	自 主	28人：職員、 カッター指導員
12	12 . 3	職員研修：食事受付時の手順等	自 主	10人：指導班
13	1 . 7	職員研修：艇庫作業の安全管理研修	自 主	10人：指導班
14	1 . 30	職員研修：自然体験活動の安全管理研修	自 主	10人：指導班
15	2 . 4	職員研修：ウォークラリーコース検証	自 主	10人：指導班
16	2 . 20	職員研修：クレーン・玉掛け研修	自 主	10人：指導班
17	3 . 5	職員研修：避難訓練、消防訓練	自 主	10人：指導班 清掃、メンテ職員

3 地元との連携

- ・本施設と「佐賀県立名護屋城博物館」、「玄海エネルギーパーク」、「玄海町次世代エネルギーパーク」、「鯨組主中尾家屋敷」とで「五施設連絡会議」を開催し、利用者増のための相互協力を行っている。
- ・主催事業「波戸日和未来のエネルギー広場」では玄海エネルギーパークの職員に講師となって頂いた。
- ・8月に開催される地元の伝統行事（海中綱引き）を主催事業（いきいき！HADDOスクール）のプログラムの中に取り入れている。
- ・地元観光協会主催の夏祭りの際には、催しの運営員（2名）として職員を派遣した。また、主催事業（ファミリータイムinHADDO）のプログラムとして花火大会に参加し、地元との連携を深めている。
- ・唐津市観光協会が主催する「九州オルレ唐津コース」の一部として、当施設内をコースに取り入れるとともに、休憩の場所や昼食会場として開放した。
- ・地元の農家に依頼し、提案型事業「みんなで楽しむ野外活動」で芋ほり体験を実施した。

第3 施設の運営に関する業務

1 休所日と施設点検日

- ・原則として年中無休で運営することになっているが、平成30年度は、県まなび課の承認を受けて休所日を1回設けた。（1月29日～1月31日）
- ・施設点検整備：毎月の当番者を決め、点検を行い必要なものは補修や整備を行った。

【点検整備等の実績】

毎月、担当及び当番職員による屋外と室内の施設・遊具の点検を実施
カッターの稼働期間は雨天時のビルジ汲み、トイレの清掃、周辺の草刈整備を実施
春から秋にかけての芝刈りは毎月2回以上実施

- 4 月 周辺草刈、ナイトウォークコース整備、OLポスト点検、竹馬カボカボ整備等
- 5 月 生活棟・宿泊棟整備点検、炊飯場排水溝清掃、ナイトウォークコース草刈等
- 6 月 薪小屋整備・整頓、周辺草刈り・芝刈り、波戸の森点検整備、グラウンド除草等
- 7 月 海岸清掃、カッター陸揚げ・船底整備、炊飯場机椅子の整備、グラウンド除草等
- 8 月 波戸の森整備、OLコース除草、ナイトウォークコース草刈、グラウンド除草等
- 9 月 サッカーゴール整備、ディスクゴルフ整備、グラウンド除草、生垣剪定作業等
- 10 月 カーテン・網戸整備、竹馬等補修整備、宿泊棟照明点検整備、倉庫整理等
- 11 月 カッター陸揚・整備と櫂整備、波戸の森看板塗替え・草刈、ツリーハウス補修等
- 12 月 カッター及び櫂整備、OLポスト回収・整備塗装、ディスクゴルフ支柱塗装等
- 1 月 高所モンキーブリッジ補修、遊具修理、看板点検、薪切り、草スキー芝補修・張替え等
- 2 月 OL,WRコース清掃、竹馬整備、ディスクゴルフ場整備、管理棟倉庫1・2整理等
- 3 月 カッター降ろし、アンカー設置、監視艇点検、炊飯場机塗装、生垣剪定作業、薪切り等

2 利用団体支援事業

(1) 利用実績

延利用者数	延宿泊者数	(内免除者数)	実利用者数	延利用団体数
71,715 人	37,154 人	1,667 人	34,511 人	741 件

(2) 県内の学校の優先受付

受付期間	受付件数	受付総人数
4月～5月19日	84 件	6,849 人

(3) 活動プログラム

提示した活動プログラム内容で職員が指導したプログラム

海洋海浜活動

カッター活動(支援)、魚釣り、シュノーケリング(支援)、磯ビンゴ

野外活動

オリエンテーリング(支援)、ウォークラリー(支援)、キッズポイントラリー(支援)、ハイキング、名護屋城跡博物館探訪コース、歴史探訪岬巡りウォーキング

名護屋城歴史探検ウォークラリー(支援)、ナイトウォーク、アウトドアビンゴ(支援)

館内活動

インドアビンゴ(支援)、室内探検ゲーム(支援)、レクリエーション(支援)

交流・交歓

キャンプファイヤー(支援)、キャンドルのつどい(支援)

アウトドア

野外炊飯(支援)、テント体験(支援)、はどの森遊具遊び(支援)

ニュースポーツ

グラウンドゴルフ(支援)、ディスクゴルフ(支援)、インディアカ、ソフトバレー、ペタンク

クラフト活動

焼き杉(支援)、プラホビー(支援)、ふくろうマグネット(支援)、ペーパーウエイト(支援)

紙ゴマ(支援)、手すきはがき(支援)、ストーンアート(支援)、きり絵(支援)、栞(支援)

その他

フライングディスク、ドッチビー、長縄跳び、竹馬、一輪車、草スキー

(4) 利用団体支援事業における団体への指導・支援

当施設が提示している活動プログラムの実施については、利用団体の要望の有無に関わらず、用具の貸出し・使用方法、活動の方法、危険予防などの支援を行っている。

また、団体からの要望があれば、できる限りの指導を行うことにしている。今年度は、以下のとおり合計 739 団体への指導・支援を実施した。

・カッター活動(112 団体)

ライフジャケットの着用法、カッター座席の割り振り、オールの持ち方や漕ぎ方、危険回避の方法などを指導

- ・野外炊飯(114 団体)
新割りの方法、火の燃やし方、包丁の扱い方、調理中の安全・衛生面について指導
- ・キャンプファイヤー・キャンドルのつどい(97 団体)
衣装やキャンドル等の道具の使用法の指導や薪組み、キャンドルの配置等の支援。
- ・ウォークラリー・キッズポイントラリー・オリエンテーリング・ナイトウォーク(92 団体)
ウォークラリー等のねらい、活動場所の様子、地図の見方、チェックポイントなどについての助言やゼッケン・地図・コンパス・無線機等の貸し出し。
- ・アウトドアビンゴ・インドアビンゴ(69 団体)
ゲームの進め方、注意点等について説明・助言、また、引率者のゲームでの役割等説明。
- ・クラフト(焼き杉、プラホビー、ふくろうのマグネット等)(82 団体)
焼き杉等のクラフトで使う材料・道具を用意して、作り方の手順の説明、安全面、技術面の指導。
- ・水辺の活動(シュノーケリング、磯発見ビンゴ等)(36 団体)
事前に安全水域を確認し、ロープで囲った上で、ゴーグルやシュノーケルの点検確認、監視等。

指導・支援については、事後の利用者アンケートで「職員の皆様がとてもほがらかでとても感動しました。」「子どもへの明るく、時に厳しいメリハリのある指導が有り難かったです。」「職員の説明が分かり易く、こちらスケジュール通りに進行出来て良かったです。」「急なお願いにも丁寧に対応して頂きました。」「カッター体験はここでしか利用できないので、いい体験をさせて頂きました。」「年齢に合わせて活動を一緒に行ってもらったり、野外炊飯の時間・場所等配慮してもらえたりして有り難かったです。」など、指導へのお礼が多く寄せられた。半面、「他団体が就寝時間を過ぎても宿泊室に入っておらず困った(当日学校と一般団体が同泊。)」といった意見も数件あり、事前打ち合わせや、当日の連絡会議で利用のマナーや決まりを守ってもらうように団体代表者へ十分伝え、お互いが利用目的に沿った活動ができるよう指導・支援をした。

(5) フィールドの開発・整備

- ・屋外でのフィールドの継続利用：波戸の森に3年前に設置した「高所ターザンロープ」「ツリーハウス2階部分」の補修を行った。既存の「ハンモック」「丸太の一本橋」「モンキーブリッジ」「ブランコ」の整備。
- ・「九州オルレ唐津コース」として利用が増加してきたため、関連施設の整備を行った。呼子大橋方面の見晴らしの確保。波戸の森の除草、整備、テーブルの塗装。

3 主催事業・提案型事業

区分	事業名	期日	参加人員	効果	施設ボランティアの活用
主	「波戸セミナー」 利用団体指導者研修	5月17日	12名	野外活動に対する理解がこの研修によって深まり、充実した研修プログラムの作成と実践的な指導力が身に付いた。	無
催	ボランティア セミナー	6月9日～ 10日	45名	子ども参加の自然体験活動の事業に支援ボランティアとして参加してもらったので、実践的内容の取り組みができた。	無
事	いきいき HADOSKULE	8月14日 ～15日	61名	雨天ではあったが伝統行事の盆綱引きに多くの子とも達が参加でき、達成感を持つことができた。また、地域の方とも交流することができた。	有 7名
	ファミリータイム inHADOSKULE	8月18日 ～19日	39名	花火や海水浴、野外炊飯等のプログラムを体験することで、家族間の交流、親睦を図ることができた。	有 5名
	ファミリータイム inHADOSKULE	10月27日 ～28日	61名	パーティーで大人と子どもの交流ができ、さらにクラフトやキッシュ作りでも親子が協力して作る場面が見受けられ、班内の家族との交流を行うことができた。	有 3名

業	波戸日和 未来のエネルギー広場	12月8日 ～9日	59名	次世代エネルギーパーク「あすぴあ」の講師による実験やクラフト活動によって、エネルギーに関する理解と関心を深めることができた。	有 2名
	年末 ふれあいプラン	12月29日 ～30日	160名	年末の日本の伝統文化のよさを体験しながら、家族内や他の家族間と楽しく交流を深めることができた。	有 5名
	いきいき HADOスクール	2月23日 ～24日	122名	参加者にコースを選択させて活動したことで、より一層頑張ろうという気持ちで取り組む姿が多く見られた。	有 8名
提 案 型 事 業	キッズチャレンジ	6月9日 ～10日 7月16日 8月25日 11月10日 1月27日	243名	自然体験を直接、経験することができたため、できることが増え、自信を持つ子どもたちが多かった。	有 20名
	チャレンジキャンプ 夏季自然体験キャンプ	8月5日 ～6日	34名	自然体験活動や生活体験のプログラムに取り組み、多くの子どもたちが自己有用感や自己肯定感を高めることができた。	有 7人
	「子育てセミナー」子ども の心を育む親子のつどい	9月29日 ～30日	67名	各活動の様子から、親子で一緒に楽しむ姿があり、特に食育に関しては家庭で活かそうだとの意見が多かった。	有 4名
	ふれあいグラウンド ゴルフ大会	10月17日	140名	参加された方が「大変面白かった。」と大変喜んでいただいた。口コミもあり、当施設が、地域の高齢者の利用も可能であることの広報になっている。	有 2名
		11月21日	126名		
		3月13日	207名		
	みんなで楽しむ野外活動	11月11日	84名	芋を掘ったり、うまく焼けた時に子ども達の「やった！」の音が響き、親子とも達成感を味わう体験活動となった。	無
	波戸岬杯地域スポーツ 交流事業	3月2日 ～3日	149名	会場運営や試合の進行など生徒中心に行われ、保護者も会場運営の補助として支援に参加し、親睦と競技力の向上につながった。	無
	九州オルレ唐津コース	通年	3454名	地域と連携して施設の周辺への利用を図ることにより、利用者の利便性が増した。	無

地域行事や近傍施設でのイベントの提供事業

- ・主催事業「いきいき！HADO スクール」の活動として参加した。(波戸の海中綱引き 8/15)

4 施設事業に係る広報・PR等

・所報・リーフレットの作成状況

所報	4月10日作成(1,500部)
ポスター	4月10日作成(450部)
チラシ	4月10日作成(700部)

・県内利用者、冬季利用者の増加のための誘客活動の実施状況(期日、方法等)

(1) 郵送

年度当初	県内小中学校及び高等学校、教育委員会、公民館等に郵送
6月	福岡の小・中・高校へ利用の案内送付
12月	28年~29年に、利用歴があるスポーツ、少年団体に利活用の案内送付

(2) 学校等訪問

唐津市内の学校を中心に研修での利用や主催事業への参加を広報。(チラシ持参)
教職員の研修や部活での利用を依頼。

【学校訪問】小学校：12校(大志小、外町小、長松小、西唐津小、佐志小、久里小、鏡山小、成和小、北波多小、名護屋小、呼子小、玄海みらい学園)

中学校：2校(海青中、玄海みらい学園)

【その他】唐津市観光協会、唐津市子育て支援センター、NPO法人かんね、唐津市近代図書館、びびっと!からつ、唐津市グランドゴルフ協会、呼子中央こども園、昭和幼稚園、すみれ幼稚園、唐津カトリック幼稚園、リョーユー幼稚園、浜崎幼稚園

5 食事の提供

・地元の飲食業者(株)桃山天下市と食堂経営を契約

- ・支配人・調理師・従業員数(8人)
- ・従業員の健康診断(毎月の検便)を受診させ、食中毒防止及び安全管理の徹底を行った。
- ・食事の提供30分前に検食し、食の安全確保に努めた。
- ・食物アレルギー等のある利用者に対しては、要望に応じた食事を提供した。
- ・食材は、可能な限り地元のJA唐津農協から調達するよう依頼した。
- ・利用者の要望に少しでも満足してもらうよう食堂側と隔月に連絡会議を実施し、改善を図った。

安全対策、特別料理の提供、地元食材の活用、アンケートへの対応等の実績

第4 施設の維持及び管理に関する業務

- 1 食事提供業務、建築物保守管理業務、設備機器管理業務、清掃業、保安警備、外構・植栽管理業務、環境衛生管理業務、廃棄物処理業務、衛生管理業務等の状況
別紙「平成30年度 波戸岬少年自然の家委託業務実績一覧」のとおり

- 2 当該年度に指定管理経費で購入した備品

分類	品名	規格	数量	金額	購入年月日
14-65-12	芝刈機	ホンダHRX537	1	159,840	H30.10.22